

●天都瑞麗#01～妖艶な女上司と新入社員なあなた～

●背景：オフィス（日中）

（主人公、工作中）

（遅れて天都瑞麗（あまつみれい）が遠くから来る）

（瑞麗、主人公の横で立ち止まる）

お疲れ様～。

（主人公「お疲れ様です」）

うん。お疲れ。

それより貴方、さっきも怒られちゃったわね。

（前屈みになって視線を合わせるような姿勢に）

あまり気に病んじゃダメよ～。

入社してまだ数ヶ月でしょ？

誰にだって失敗はあるし、

さっき怒ったオジサマだってきっと上司に怒られてきた。

だから、自分ができないとか、

自分は役に立たないとか思っちゃダメ。

少なくとも、私は貴方がいないと寂しいわ……♪

（主人公「あ、天都先輩……」）

感動させちゃったかな～。

ふふ。

ほら、よく一緒にランチ行ったり、

一緒に帰ったりするでしょ？

貴方は後輩だけど……それくらい、私には居心地いいのよ♪

……あ、そうそう。

彼女さんとはどう？
同棲の約束してるんでしょ？

(主人公「そ、そうですね……でも進展はまだ」)

あら～。まだ進展してないの？
気長に構えるしかないわね。
向こうもきっと、貴方と一緒に居たいと思ってるはずよ。

いいな～。
私も同棲してみたい。
相手もないけどね。

(主人公「モテそうなのに」)

ウフフ。
私、モテそう～？
あら、貴方に言われたら自信ついちゃうわね。

でも……。
いいなあ。
私も貴方みたいな可愛い子と同棲したい。

(主人公「も、もうからかわないでくださいよ」)

ウフフ。
からかっていると思う？

どっちだと思う？
ウフフ。

(主人公、胸元を見てしまう)

いま、どこ見てた？
誤魔化しても無駄。視線、泳いでる……♪

(主人公「ご、ごめんなさい」)

別に謝らなくていいのに。
気にしてないわよ。
だって……
貴方だったら、
もっと見ていいのになって思ってる……♥
おっばい……見たいでしょ？

なんてね。
さ、お仕事お仕事♪

私、頑張ってる貴方が好きよ。
じゃあね。

=====

●天都瑞麗#02～誘われた気がして～

●背景：オフィス（夜）

(主人公が残業中)

こーら。
残業でも電気はちゃんとつけないと。
電気代は貴方の視力より大事じゃないでしょ？

(主人公「天都先輩、どうして？」)

私はね、貴方が帰ってないって聞いたから、
心配して戻ってきちゃった。

(主人公「なんで僕なんかのために」)

貴方は大事な後輩。

貴方が苦勞してるならそれをサポートしてあげる。
それが、上司の役割でしょ？

(主人公「あ、そ、そういう」)

ウフフ。
なんで残念そうなの？
もしかして……なにか別の返答、期待してた？

(瑞麗、前屈みになって谷間強調)

なに期待してたの？

(主人公「ち、違いますよ？ 別にそういう……」)

そうよね？ そういう期待じゃないわよね。
だって貴方には大事な大事な彼女さんがいる。
かくいう私は——ウフフ。
なんでもない。

お仕事、手伝うわね。
ふたりで作業すれば残業も短くなるでしょ？

(主人公「な、なんでそこまで優しくしてくれるんですか」)

ん？
ウフフ。
意図して優しくしてるわけじゃないの。
彼女さんとの夢を持った貴方が眩しくて、
ちょっと応援したくてね。

私、恋愛とかからつきしだから。

(主人公「ほ、ほんとですか？」)

なんで怪しむの～？

こう見えても健全なお姉さんよ？

それなのに——ウフフ。

今日はなぜか、やたら視線が気になっちゃう。

なんで見てるの？

ダメよ……お仕事に集中しなきゃ、残業終わらない。

どこ見てるのかしら……♥

谷間？

ウフフ……胸元が、いつもより開いてて見ちゃうのかな？

エッチ……♥

この前もそうだったけど……、

貴方の情熱的な視線……いつもココに注がれてるわね……♥

アラサーのおっばいでいいの？

彼女さんの方が若いでしょ？

(主人公「ぼ、僕……」)

どうしたの？

(主人公「我慢できません!」)

ちょ、ちょっとお……？

ここ、オフィスよ？

それに……貴方には、彼女さんが……。

(主人公「でも、誘惑されて……」)

誘惑～？

ウフフ……シテないわよ。

(主人公「僕のこと、あ、あの……」)

ああ……なるほど。

私からの好意、感じちゃったんだ？

たしかに……好意はあるわよ。

でも……どんな好意かな。

なんでもかんでも説明しちゃうのは無粋。

察しなさい？

勘違いでもいいから想像するの……♥

(主人公「そ、そういうところですよ！」)

(主人公からキス)

んむっ！

や、ッ、そういうこと——ん、ちゅ、ちゅッ、しちゃうんだ……？

んちゅ、チュッ、んん、ちゅ……。

ちゅ……んむ、ちゅ……ッ、ちゅ。

好意を感じたら……キスしちゃうの……？

ちゅ、んっ、アッ、ん、ちゅっ、ウフフ……イケナイ子。

(主人公、パンツをまさぐる)

ん、そこは——

ん、ちゅ、ちゅく、ちゅ。

ウフフ……そこまでしちゃって大丈夫……？

(主人公「なんでそんな余裕なんですか」)

余裕？ 私が？

余裕あるように見える？

じゃあ……、

おっぱい触ってみる？

ン、ん……いま、鼓動高鳴ってるわよ♥

(主人公「い、いいです」)

遠慮しなくていいのに。

あん……ッ。

パンスト破いちやダメよ……。

そこまでしちゃうの？

あ、や……ッ。

おっぱい揉まなくせに……、

そっちは、いじりたいの……？

あああ……ッ♥

おまんこに……指が……ッ。

あ、あ、あ……ッ♥

彼女さん、いるんでしょ……？

なのに……こんなことしちゃって……、

私はその気になっちゃったらどうするの？

ウフフ。

あん……♥

あ、ああ……かくいう私は……すでに、その気になってたりして……♥

ん、んく……んう……ん、う、ん……♥

ん、んうッ、あ——

声、気をつけなくちゃ……♪

はあ、はあ……ん、んく、ン……。

アッ、ん、ッ、ん、いつも、この指で、彼女さん気持ちよくしてるの～？

ウフフ、んう、色々、考えちゃう……♥

(主人公「そ、それって？」)

ん、んう……はあ、ん、ん……。

ウフフ……考えちゃうって言っただけよ？

はあっ、ん、ンくう、んん……人生はゲームじゃないの。

あとは自分で考えなくちゃ……♥

んう、ン……あつ、あッ。

とりあえず……♥

女の子にこういうことする人には……、

オシオキ……♥

そっちが責めたんでしょ？

私も思わせぶりだったかもだけど——

(ペニスが露出)

まあ……♥

立派ね♥

貴方の——

おちんぼ♥

はあ、はあ……。

あくまでも、オシオキ。

仕返しの手コキよ♥

んう、ん……ふううう、んく、ん……。

ん。ん、ン……ふううう、ん……ん……。

かっつたあ♥

いいの持ってるのね……♥

(主人公「や、やめ……ッ」)

んう、ン……んん……っ。

んう？　なんで止めなくちゃいけないの～？

貴方が責めたんでしょ？

ダメよ？

迫ったんだから……ちゃんと最後まで責任持たないと♥

(主人公「僕、童貞なんです……」)

あら？
童貞なの？

いいこと聞いちゃった……♥
なんでもないわ……♪
それより……

彼女さんいるのに、どうして？
彼女さん、させてくれない人なの？

(主人公「は、はい……」)

あらあ、合ってるんだ？ なら仕方ないわね。
女の子の誰しものが、エッチにノリ気なわけじゃないし……。

だから、私に迫っちゃった……？
彼女さんの手握ったり、キスしたりできるのに、
ほかはさせてくれなくて……悶々としてるから？

私は、代用品なのかしら？
違うわよね？
ウフフ……♥

はあ、ん、んく……どうしたの？
指疲れちゃった？
それじゃあ女の子は満足させられないわよ……♥

んむ！ チュッ、ウフフ、キスだけは——ちゅ、ん、んむッ。
積極的、なのね……♥

ちゅ、ん、ちゅッ、チュッ。
あんっ……♥
大丈夫？ 無理しないでね？

ん、んむちゅ、チュ……ちゅッ。

ちゅ、はあ、ん、んくう、ちゅ、ちゅうううッ。

ふはあ……。

はあ、はあ……ねえ、私をどうしたいの？

迫ったんだから、今後のプランはあるのよね？

セフレ？

ワンナイト？

この後の関係……愉しみだわ♥

(主人公「やめて……ッッ」)

はああああ……♥

いい声で喘ぐのね♥

ウフフ、止めないわよ？

貴方がイクまで♥

ンンッ♥ ウフフッ、ん、んくう……ッ♥

乱暴な愛撫はダメ……っ♥

でも、ああッ、はあっ、あ、アアッ♥

気持ちいいわ……♥

あっ、んんん、んくッ、ん……ッ。

イカせあいましょ？

同時にイケたら、

はあ、はあッ、

もっといいこと……してあげる♥

ああん♥ おちんぼ硬くなった♥

イッちゃう？

こんな場所で？

ウフフ、私のこともこんな場所でイカせちゃう？

あああ……っ♥

いいわよ♥

私が次にイクって言った時、
同時にイクの♥

んうううッ、はあっ、あああッ。
来るわよ♥
んんううううッ！
いいいいいいッ、イク……ッッ！

(同時絶頂 (太ももへぶっかけ))

んああっ♥
アッ♥ ああっ♥

あらら……♥
すごい出た♥
相当、溜めてたのね♥

はあ、はあ……。
私もイっちゃった……♥

でも。
ダメよ……？
パンスト破いた上に、精液ぶっかけちゃうなんて。
上司にパンストなしの素足で帰らせるつもり？

(主人公「ご、ごめんなさい」)

ウフフ。さ、お仕事に戻る前にトイレ行きましょ？
パンスト、どちらにせよ捨てないといけないけど、
さすがに精液まみれのままゴミ箱に捨てられないものね。

洗わないと。
ついてきて？

(主人公「と、トイレに？」)

なにか不満でも？

もう誰もいないんだし、女子トイレに入っても問題ないわよ。

(瑞穂、少し離れて背中を向ける)

おいで？

おちんぼも洗わなくちゃ。

=====

●天都瑞麗#03～再びセンパイと…～

●背景：女子トイレ（夜）

(パート2での射精後)

(瑞麗に女子トイレへ連れて行かれた後)

(瑞麗、パンストを脱いでパンストを洗っている)

(主人公は後ろに立っている)

パンストを濡らしたのはしょうがないわ。

イケって言ったんだものね。

あそこにかけるしかなかった。

でも、いきなり人様のおまんこに指入れるのはだ一め。

私じゃなかったら大変よ？

通報されても仕方ないんだから。

(主人公「ごめんなさい」)

謝らないで。

もう何回目？

それより、そんな度胸あるなら彼女さんともデキそうだけど。

そんなにお堅いの？

(主人公「家がお金持ちで……」)

あらあ。
ご令嬢か。
そんな子と恋できただけでもすごいわね。

ウフフ。
しないの？

(主人公「な、なにを？」)

いま、パンスト穿いてないの。
パンツも濡れちゃったからいまは穿いてない。
更衣室で置き替えるまでは、ね。

(主人公、我慢できずペニスを取り出す)

ウフフ……。

(主人公、背後から密着)

あん……ッ。
あらあ……入れちゃうの？
ここ……オフィスよ？

それに——
彼女さんで童貞卒業しないの？

(主人公からキス)

んんッ！ チュッ、ん、ちゅっ、ちゅ。
またキスされちゃった……♥
本気なんだ……♥
意外とおオカミなのね……♥

あん……。

見ちゃダメよ？ おまんこ♥

(主人公、ペニスをあてがう)

あ……待って？

ゴムは——

(主人公、立ちバックで生挿入)

ンンンッ♥

やん……イケナイ子ね……。

ん、んく、上司のおまんこに、生ハメなんて……♥

はああああ……ッ♥

(根元までペニス挿入)

(挿入とともに軽い絶頂をする瑞麗)

ンンンッ♥

あっ……ウフフ♥

イッちやった……♥

(主人公「う、うそ……」)

ほんと……♥

油断しててつい……♥

んう、いいおちんぼしてるのね……♥

童貞なんて、信じられないくらいに……♥

あんッ！

ん、あつ、アッ♥

入れていいなんて言っていないわよ～？

しないのって、聞いただけ♥

はあ、はあ……ッ。

入れちゃったら、もう覚悟決めなくちゃダメ♥

貴方は、私をどう思ってるの？

私は……ウフフ♥

内緒だけど♥

はあっ、ん、ん……ああ、久しぶりだから、

ンんん、んっ、んっ、さすがに、ちょっと感じ過ぎちゃう……♥

ん、んく、ん……ふう、ん、んう……。

ああ、いいおちんぼなのがいけないの……♥

はあ、はあ、んん、アッ、ああっ♥

んんん、くふ、ん、んう……んんん、んく、ん……ッ。

ほら、するならもっと積極的に♥

んむう、ちゆく、ちゆ、ちゅうううッ。

はあ……んんん、ちゆ、ちゅうう、ちゆ、はあ、はあッ。

んふふ……♥

キスだけで反応しちゃうの……？

あんッ！

ふふふ、気合い入っちゃった？

あああッ、はあっ、ん、ンくっん♥

初体験が生挿入なんて贅沢♥

んん、んっ、私だから生なの？

彼女だったら、絶対にゴムつけたでしょ？

だって、将来の責任があるから。

ウフフ、なんで私には生なの？

(主人公「それは……」)

ヤリマンだと思った？

生ですの慣れてると思ってる？

ウフフ……貴方は、どう思って私におちんぼ入れたの？
たぶんだけど……、
私が貴方に好意を抱いてるって、思ってるんじゃないかな？
だから……拒否されないと思ってる♥

(主人公「違うんですか……？」)

んく、んん、はあ、はあ、恋は駆け引き……♥
私は肯定も否定もしない。
んんんっ、はあ、ん、もしかしたら——
彼女さんから、略奪したいのかも……♥

(主人公「ううう……ッ」)

ウフフ……悶えちゃって可愛い。

貴方の思いは？
どうせなら、おちんぼで伝えてくれる？

はあ、はあ……んん、んっ、んう……ッ。
あら？ どうしたの？
伝えてくれないの？

んんんッ！
ウフフ、これが、想い？

ああっ、ん、んっ、ンくんんんっ……はああ、うくッ、ンンッ！
若いおちんぼってステキ……ッ♥

ピストンしてるだけで……、
どんどんみなぎって、どんどん、逞しく勃起してえ……♥

(主人公「で、出そう……！」)

出る？

お尻にかけて？

はあ、はあ、スカートにはかけちゃダメよ？

んんん、んくッ、んんん……ッ。

ああ……うく、んん、んっ、私もイクわ♥

ああああああ……ッ！

ちよっと待って！

(射精前の瑞麗、わざと嫌がるふりをしています)

ダメよっ？ 中はダメ！

あああっ、待って……ッ！

んんんんんんッ！

精液ぴゅっぴゅしちやだめええ〜〜〜……ッッ！

(同時絶頂 (中出し))

ンンンンンう〜〜〜〜〜ッッ！

やッ、うそ……ッ！

出てる？

も〜……ダメって言ったじゃないの……。

はああ……。

デキちゃったらどうするの？

はあ……はあ……ッ。

アッ、んんくうう……ッ。

ダメな子……♥

(瑞麗、腰を引いてペニスを抜く)

んあああ……ッ♥

(瑞麗、反転してからしゃがむ)

許さない……♥

(瑞麗、主人公の足下でしゃがんでお掃除フェラ)

んむう、ちゅ、ちゅく、ちゅゆう、チュッ。

ずずずッ、オシオキ♥

ちゅぶぶッ、ちゅる、ちゅる、ちゅぶぶッ！

ズズッ！ ちゅくりゅ、ちゅ、ちゅううううう、チュッ！

ウフフ……♥

くすぐったいでしょ？

もっと悶えて？ 悶える顔好きなの♥

んぷうう！ ちゅぶッ、ちゅる、ちゅ、ちゅうッ！

ちゅく、ちゅ、ちゅ、ズズッ！

(主人公「待ってください！」)

ちゅるるッ、ちゅ、チュッ、チュッ！

ウフフ……待たない♥

ちゅるるッ、ちゅぐ、ちゅうう、ズズッ！

ちゅ、ちゅむ、ちゅ、ちゅるるるッ、チュッ！

んんむむう、ちゅる、ちゅ、ちゅくう、ちゅるッ！

ふはあ……。

ごちそう様♥

今日はこれくらいにしてあげる♥

(主人公「あの……ごめんなさい」)

ウフフ。なにを謝ってるの？

中出しのこと？

ええ。たしかに子宮の中に……精液溜まっちゃった。

これ、掻き出す場所ないから……もしかしたら受精しちゃうかも。

(主人公「そ、そんな……！」)

ウフフ。なんで怯えるの？
貴方が出したのよ……♥
なーんてね。
嘘よ♥

(瑞麗、抱きつく)

薬、常備してるの♥

(主人公「び、ピル？」)

そう。ピル♥
なんで持ってるのかは、想像にお任せ……♥

それよりも——
好きな人がいるのに、イケナイ人ね♥
私、本気になっちゃうわよ？
本気に、ね♥

=====

●天都瑞麗#04～飲み席にて～

●背景：居酒屋（夜）

(パート3から数日後)
(主人公の隣に瑞麗が座っている)

オジサンたちって元気よね～。
お仕事の時もあれだけ張り切ってくれたら、
もっと効率がいいんだけどね。

(主人公「そ、そうですね」)

ウフフ。誰も聞いてないんだから本音言ってもいいのよ？
私なんて本人の前で直接言っちゃうわ。
グラス持って？
お酌してあげる

(主人公、グラスを片手に瑞麗にお酌してもらう)

は〜……♥
イイ音……♥

(主人公「あの、質問いいですか？」)

質問？
いいわよ。
なに？

(主人公「彼氏って、いるんですか？」)

彼氏？ ううん。いないわよ。
居たら、あんなことしないわよ……笑
ふふつ。

ただ、結婚願望はあるのよね。
昔、初めてつきあったのは高校3年の頃の同級生。
あとで聞いたんだけど私、浮気相手だったみたいで。

(主人公「う、うそ」)

ふふ。本当よ？
ただ都合よく抱けるだけの女って思われてたの。
でね、それが原因で男の人を信じられないって時期もあって……。
だから、結構結婚は無理かなーって気持ちも強い。

(主人公「できると思いますよ」)

ふふふ。結婚、できると思うんだ？

ありがとう。

でも、貴方の心の声、読めちゃうのよね。

……結婚できると思った理由……美人だからって言うつもりでしょ？

ん、ん……ん……。

ふう。

私は私を大事にしてくれる人と結婚したい。

この話、貴方にしかしてないの。

誰にも言わないでね？

(主人公「どこからどこまでを……？」)

どこからって……。

結婚願望も、過去の恋愛についてもよ。

貴方と私だけの秘密。

(主人公「もちろんです」)

さ、飲みましょ？

飲まなきゃノリ悪いってウザ絡みされちゃんだから。

●背景：街中（夜）

(夜の街をふたりで歩く)

(主人公は瑞麗に肩を貸している)

ごめんねえ？

肩貸してもらっちゃって。

(主人公「結構弱いんですね」)

うん……お酒弱い。

ウフフ……格好悪いところ、見せちゃった。

貴方の前では格好いい先輩で居たかったんだけどね。

(主人公「そんなことはないですよ。いつも格好いいです」)

ありがとう……♪

私を格好いいって言ってくれる貴方は、

可愛い子……♥

(主人公「タクシー呼びます？」)

タクシー？

……やだ。

(主人公「でも歩いて帰れないので」)

貴方は？ 一緒に乗ってくれる？

(主人公「帰る方向違うので」)

方向違うからなに？

か弱い酔っ払いお姉さん、ひとりでタクシーに乗って帰すの～？

タクシーからおりて、ほかの人に襲われたらどうするの？

(主人公「な、なら一緒に乗りますよ」)

ありがとう♥

じゃあ、タクシー呼んで？

ウフフ♥

=====

●天都瑞麗#05～【支配完了】オンナは自身を弱らせ、男をつけ込ませる～

●背景：ラブホテル（夜）

(ふたりで腕を組んでホテルへ)

は〜……着いた着いた。

(主人公「こ、ここって……」)

なにを躊躇ってるの？

ラブホテル、入ったことない？

吐きそうだから、すぐ休めるところ入っちゃった。

脱いで？

靴。

さて♥

こっち見て？

(瑞麗、向き合うと主人公に抱きつく)

ウフフ。

彼女いるのに……こんなところまでついてきちゃって♥

(瑞麗からキス)

んふんん、ちゅ、ちゅむ、チュッ、ちゅッ。

大人のキス……経験ある？

口、開けて？

(瑞麗からディープキス)

ぺろぺろんん、ちゅ……ちゅむ、ちゅッ。

ちゅく、ちゅ、んぷふうう、ちゅ、ちゅうううう。

もうおちんぼ勃ってるの？

(主人公「は、吐きそうなんじゃ……」)

吐く？ ああ、飲み過ぎてたから？

ウフフ……演技よ♥

貴方をホテルに連れ込むための♥

私、かなり強いよ。

あの程度で酔うわけないの……♥

(主人公「どうしてっ?」)

ウフフ……なんでもかんでも理由を聞かないの。

そもそも……おちんぼしゃぶって、

おまんこに中出しして……、

それだけで関係が終わると思う?

(主人公「な、なにをして……」)

抵抗しないの。

ここ、ラブホテルよ?

セックスしなきゃ意味ないじゃない♥

ちゅ、ちゅ、ちゅく、ちゅ……。

乳首も悦んでるわよ?

貴方だって、私とホテルに来られて嬉しいでしょ?

さ、おちんぼ出そう。

この膨らみ……♥

溜まらないわね♥

はああ♥

先に私を抱いたのはそっち……♥

火をつけたらちゃんと責任持って鎮火させないと……♥

我慢できないでしょ?

見せて?

ウフフ♥

ギンギンに勃起してる♥

(瑞麗、ペニスを握ってしごく)

いますぐしゃぶりたいけど……、

この前しなかったこと……

したいわよね♥
さ。
ベッド、行って？

(主人公「で、でも」)

言葉はいらないの。
ほーら。早く♪

ベッドに座って？
それでいいの♥
それじゃあ——、

私もちゃんと裸にならないとね。
見てていいわよ？

会社の上司の裸なんて……
早々拝めないでしょ？
これ、外してみる？

(瑞麗、背中を見せてブラのホックを外させる)

ホックを外すの。
やったことないでしょ？
先日まで童貞だったなら。
ねえ？
外して？
あら……上手♥

(ブラのホックが外れる)

簡単に外されちゃった♥
見て？
これが上司のおっぱいよ♥

(主人公「お、大きい……」)

今日はこのマシュマロおっぱいで……、
彼女さんにできないこと、してあげる♥

(谷間にペニスを挟む)

んううう♥
ウフ……あつつい♥
この熱々のおちんぼ……

おっぱいで、ほぐしてあげる♥
んんくん、ン……ふううう、ん、ん……。
ふう……んん、んく、ん……んん……。

ねえ？
私ね……貴方なこと気に入ってるの。
彼女さんが居ても……気になってる♥

(主人公「それって……」)

もちろん、説明はしないわ。
恋愛に攻略サイトなんていないんだから♥

んん、ん……でも、気になってるとだけ伝えておくわね♥
あとは、貴方がどうしたいか……伝えてね？

んう、ふうう……ん、んく……んう。
前も言ったでしょ？
ウフフ……私、催促してるの。
返答がこなかったから……今日、ホテルにお持ち帰りしちゃった♥

んうああ……♥
ふう……んんううう、乳腺刺激される……♥
んんん、んく……んう……ふう、ん、ん……。
こういうこと、今後もしたいわね♥

ん、ン、んく、ん……んう。

そのためにも、今日……返事をもらわなくちゃ……♥

(主人公「僕、でも彼女が……」)

ウフフ。彼女さんがいるのは知ってるわよ？

でも返事してほしいの。

結婚してないんだから……返事くらい、出せるでしょ？

んふううう、んく、ん……んん、ん……。

ふう……ん、ン……ふう、ん、んう……ん……。

うん。カウパー出てきたし、これくらいでいいわよね。

さ、しましょ？

セックス♥

チュッ。

オフィスでするよりも、

きっと、気持ちいいわよ♥

見て？ 私のパンツ。

(瑞麗、自身のパンツを渡す)

びしょびしょなの♥

腕組んでた時から濡れてるの。

私、塗れやすいから♥

こっちおいで？

チュッ。

(瑞麗、ベッドに乗って枕元へ)

ふう。

おいで？

生で入れていいわよ♥

(主人公、少し遅れてベッド上を移動)

(主人公、瑞麗の股ぐらに入れて正常位の体勢に)

我慢させないで♥
貴方が欲しいの……♥

(主人公「僕も……」)

ん？ 貴方もなの？
ウフフ……。

(主人公「僕も、天都先輩が欲しいです」)

ええ♥ 貴方が私を欲しがってるの……、
擦れるおちんぼから伝わってる♥

さあ入れて♥
生で入れて♥
いまはプライベート……っ、
ひとりの女、天都瑞麗を愛して♥

んあッ♥
おつきいいわあ♥
ンうああああ……ッ♥

(根元までペニス挿入)

ンンン……ッ！
アッ……！
はあ、はあ……入っちゃった♥

ンく！ ウフフ、いきなりなんて……相当、昂ぶってるのね♥

ンッ♥
はあっ……あ、ああッ、ん、んう……♥
貴方のおちんぼ、いままでで一番気持ちいいおちんぼ♥
はあっ、あ、あ、ん、んう……♥

(主人公「僕以外の……」)

ん？ ウフフ、ほかの経験なんて、気になる？
なら、元カレを忘れさせるくらい、
気持ちよくさせて？

ん、んく、ンッ、んっ。

(主人公、乳揉み)

んッ♥ ん、そう、自分から……おっぱい求めるの、いいわね♥
アッ、あっ、ん、んうううッ。
はあ、んく、ン、んう、んううう、ん……ッ。
私も、責めるわね♥

ぺろぺろぺろッ、ぷちゅうう、んんん、チュッ。
んん、ちゆく、ちゆ、ちゅうう、チュッ。

もっと反応して？
オスのフェロモン剥き出しになった貴方に、犯されたいの♥

れろ、ちゅうう、ちゆくんん、ちゆ、ぺろぺろぺろッ。
んぷふうう、ちゆく、ちゅうううッ。

ふう、んん、ちゆく、ちゅうううッ。
ああ、気持ちいい♥

んん、ちゆ、ちゅうう、チュッ、んん、ちゆ。
ちゅう……ちゆ、ちゆる、ちゅううう、ちゆく、チュッ。

はあ、はあ……。
気持ちいいでしょ？
耳を舐められながら、おまんこに生ハメ交尾……♥
彼女持ちなのに、イケナイことしてる♥

んんう、ん、でも、イケナイことじゃなくする方法、ひとつだけあると思わない？

はあ、んッ、んく、ん、んう……。

ウフフ……。

私を……選ばばいいのよ♥

ふふっ、考えさせたいのに……つい言っちゃった……笑

んん、んくッ、支配したいでしょ？

自分のおちんぼで、とろとろにしたいでしょ？

んくッ。

選択は自由よ♥

私をその日限りの……使い勝手のいい性処理おまんこにするのも自由♥

れろれろれろ、んぷうう、チュッ。

ちゅう、ちゅ、んむむ、ちゅ、ちゆる、ちゆくッ。

んんん、ちゆく、ちゅうううう、ちゅ、ちゅんんん、チュッ。

さあ、どうしたい？

恥ずかしくて言葉にできない？

罪悪感があるのよね……ウフフ。わかるわよ♥

なら、答えはおちんぼで示して？

あん……ッ。

ウフフ、すぐに返答来ちゃった……♥

あああ、んく、んんん、んっ。はあ、ん、ん、ッ。

ふううう、んくんん、ん、んっ、あ、ああ……ッ♥

それ、いいわあ♥

んん、はあ、ん、んく……ッ。

気持ちいい♥

んんん、はあ、はあ……ッ♥

貴方の返答、気持ちいいわ♥

んんく、んう、返答したならもう、言い訳も嘘も受けつけない♥

ウフフ……もう逃がさない♥

私、独占欲強いんだから♥

んああ、ん、んう♥

堪らないわあ……この興奮♥

もっと支配して？

お酒入ってるでしょお？

酔った勢いでシちやえばいいのよ♥

な・か・だ・し♥

おいで？

私なら、貴方を童貞なんかにしない♥

ず〜っと可愛がってあげる♥

ンンンン……ッ！

あああっ♥

ウフフ！

獰猛なオスの本能おッ♥

あああッ♥ 疼くう♥ 私のメスまんこが疼いてズキズキするううッ♥

あんんうッ♥

イッてえ♥

中出しするまで離さない♥

来て♥

私が貴方を支えるわ♥

お仕事だけじゃない、プライベートもお世話してあげる♥

はあッ、はあッ、ああッ♥

イクうッ♥

貴方もイキなさい♥

上司としてじゃなく、女としてのお願いよお♥

あああああッ！

さあッ♥

おまんこに出すのお♥

中出し精液iiiiiiiiiiッ♥♥

(同時絶頂 (中出し))

アアアアアッ♥

あはああッ♥

んくううッ♥ あんッ♥

子宮をッ、貫かれ、てえ……ッ♥

あッ♥ ウフフ、中出し、きてる♥

んんうッ♥ 私だけの、中出し……ッ♥

んんくッ、んん、はあッ、あ、ああ……ッ♥

全部出すまで……離さないわよ？

ほら、動いて？

ああんッ♥

ウフフ……そうそう♥

それよお……♥

んゆんううッ♥

あうッ♥ ん、んうう……♥

止まった、みたい……♥

ウフフ……いまの、最高だった……♥

可愛い貴方が、年上の私をおちんぼでわからせた……♥

最高の反逆ね……♥

はあ……はあ……。

それで、感想は……？

(主人公「あの……ごめんなさい」)

ウフフ。なんの謝罪？
中出しなら気にしないで。
私が出させたんだから。

ちゅむ、ちゅ……ちゅ。
ちゅ……んんう、ちゅ……。

はあ……♥
今後の予定、どうするのかな？

さっき、お酒の席で伝えたわよ。
彼氏はいない。
結婚願望もある。

ああ、それと……、
妊娠願望も……♥

ウフフ。
さ、いますぐ……彼女さんに連絡しなくちゃね？